

図書館は**変**わるのか!?

- GakuNin Library Team 2010活動報告 -

GakuNin Library Team

阿藤品 治夫 (NII)

片岡 真 (九州大)

井上 敏宏 (京都大)

吉田 幸苗 (東京大)

野田 英明 (千葉大)

前回までのあらすじ。

- ・ Shibboleth認証は
「図書館サービスに有効」

でも、コンテンツ
少ないよね・・・

もっと便利に
使いたい！

VPNやProxyでも
いいんじゃない？

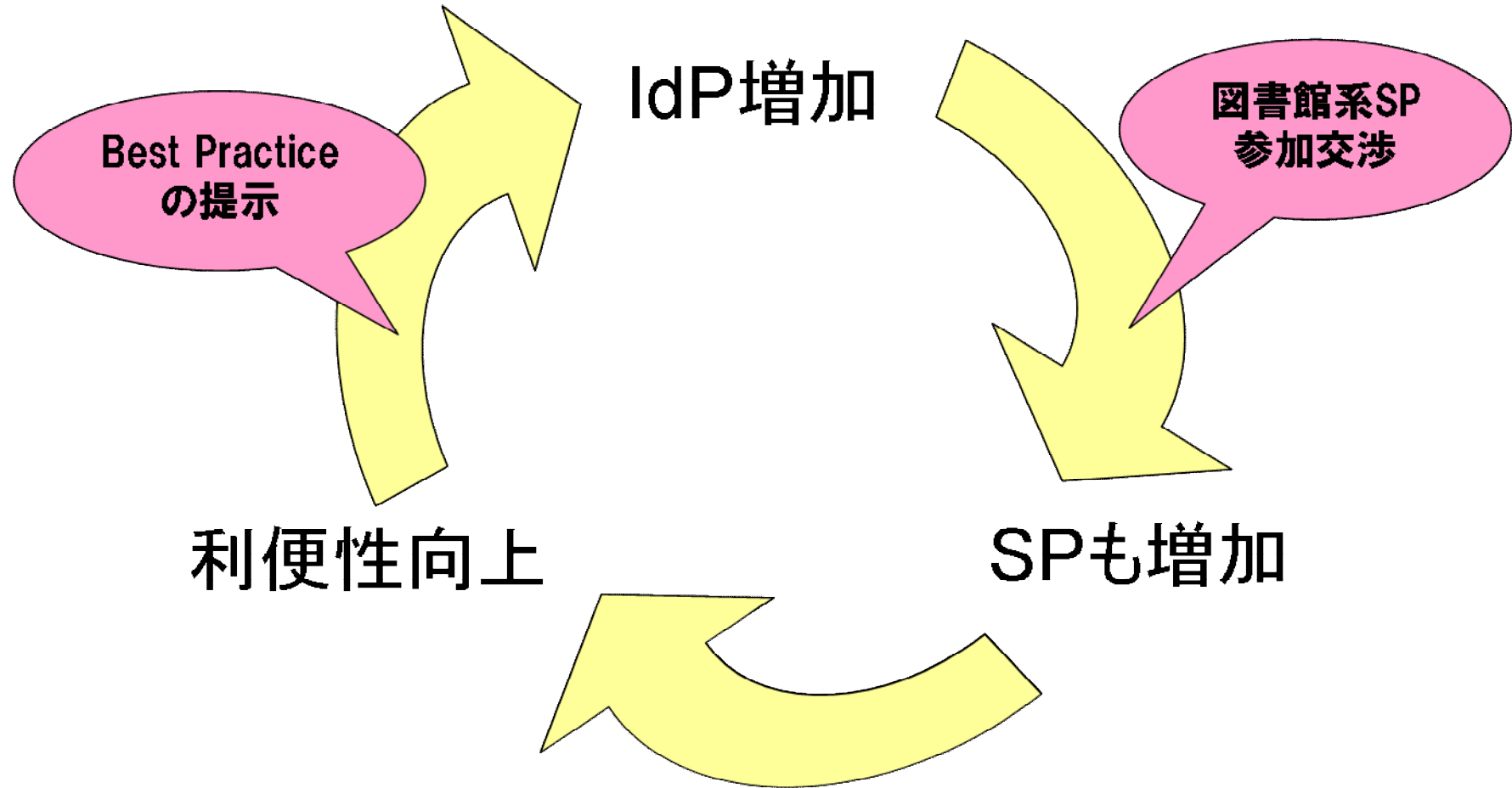
InCommon Library Subgroups

- ・ 米国 “InCommon” で2007年に結成
- ・ 参加機関のLibrarianを軸に構成
- ・ Shibbolethを活用することで、
 図書館サービスの向上を図る
 - ベンダーとの参加交渉
 - 活用事例の情報共有

GakuNin Library Team

- ・ モデルは米国 “InCommon Library Subgroups”
- ・ 学認タスクフォース内で
(いまのところ) 非公式に活動中
 - 国内外の動向を探る！
 - GakuNin対応サービスを増加させる！
 - 図書館的なBest Practiceを構築する！

GakuNin LTの野望



まずは米国に学ぼう



海外動向調査

- 米国におけるフェデレーション活動を調査
(**2010年11月1日～8日**)
 - ✓ Internet2 2010 Fall Member Meeting
米国・欧州における動向の調査
 - ✓ InCommon Library Subgroups
活動内容に関するインタビュー

Internet2 Member Meeting

- 2010年11月1日～4日
- ジョージア州アトランタで開催
- Shibbolethをはじめ、グリッドやネットワークなど、高等教育機関の情報環境について議論



Internet2 Member Meeting

- ・ Shibbolethをもっと便利に
 - 分散したアクセスログの統合・分析ツール
(カーディフ大学 RAPTOR Project)
 - 非WebアプリケーションへのShibboleth実装
(Project Moonshotなど)
 - ソーシャルサービス(Facebookなど)との認証連携

Internet2 Member Meeting

- ・ **本格化するInter-Federation**

- 複数フェデレーションで
SPを相互提供(eduGAIN)



- Inter-Fed実現に向けた
課題の調整(REFEDs)



- フェデレーション共同での
プロジェクトも

Internet2 Member Meeting

- ・ **最大の収穫。**
 - GakuNinの認知度は高い。
 - グローバルな動きに参加することで、
国内の環境を持続的に発展させられる。

InCommon インタビュー

➤ 2010年11月5日～6日



➤ シカゴ・Northwestern University にて実施

➤ Thomas Howell氏
(Northwestern U)

Tod Olson氏
(U. Chicago)

ほか

InCommon インタビュー

- ・ サービスプロバイダを増やすために
 - 追加したいサービスがあれば、
各大学がInCommonの利益を代表して交渉
 - 手続きやメールの雛形を共有
 - Inter-Federationの協働が理想だが・・・

InCommon インタビュー

- ・ **米国における利用の実際**
 - EZproxy / Shibbolethハイブリッドが一般的
 - 利用の50%は図書館以外の目的
(事務システム、グリッドコンピューティング・・・)
 - スタッフ、ユーザ共、「デジタル」の利用に格差

日本も、真似してみよう。



対応サービスを増やせ！

- ・ 需要の多そうなサービスをリストアップ
- ・ 海外でShibboleth対応済みのサービスから
- ・ ベンダーごとに分担して直接交渉！
- ・ 現在、10社以上とGakuNin参加交渉中

プロジェクト体制

GakuNin Library Team

- ・ サービス拡大戦略の検討
- ・ ベンダーへの1st Contact

Library service integration coordinator

- ・ ベンダーとの連絡・調整

Technical Support Team

- ・ フェデレーションサーバによる接続テスト

拳がりつつある成果

IOPscience



ProQuest
Information and Learning

KARGER



A service of the National Library of Medicine
and the National Institutes of Health

OXFORD
UNIVERSITY PRESS



参加機関も増えてほしい

- まだ「ベストプラクティス」とは言えないが・・・
- **図書館向け普及活動**
 - 図書館総合展での事例報告
 - 「カレントアウェアネス」誌への投稿

野田英明[ほか]. Shibboleth認証で変わる学術情報アクセス.

カレントアウェアネス, No.307 (in press.)

まとめ

- 参加することで、より良い環境が得られる。
- 連携することで、**環境は変えられる。**

Are you a librarian?

Say “Shibboleth”.